

結果の概要

1 労働争議の種類別の状況

平成23年の労働争議は、「総争議」の件数は612件、総参加人員は58,495人となっており、前年に比べ、件数が70件（10.3%）減、総参加人員が52,169人（47.1%）減となった。

このうち、「争議行為を伴う争議」の件数は57件、行為参加人員は8,604人となっており、前年に比べ、件数が28件（32.9%）減、行為参加人員が12,658人（59.5%）減となった。（第1表、第1図）

「総争議」、「争議行為を伴う争議」の件数は、比較可能な昭和32年以降、ともに最も少なかった（P11附表）。

第1表 労働争議の種類別件数及び参加人員の推移

年次	総争議		争議行為を伴う争議			争議行為を伴わない争議	
	件数	総参加人員	件数	総参加人員	行為参加人員	件数	総参加人員
平成18年	662	627,413	111	90,661	38,595	551	536,752
19	636	612,974	156	103,133	54,105	480	509,841
20	657	176,853	112	99,548	48,984	545	77,305
21	780	115,371	92	76,349	20,543	688	39,022
22	682	110,664	85	56,132	21,262	597	54,532
23	612	58,495	57	33,472	8,604	555	25,023
平成23年の 対前年増減率(%)	△ 10.3	△ 47.1	△ 32.9	△ 40.4	△ 59.5	△ 7.0	△ 54.1

第1図 労働争議の種類別件数の推移

